常任委員会レポート

福祉文教委員会

事務作業を軽減し、子どもと向き合う時間をより確保

令和８年7月30日、所管事務調査を行いました。

調　査　事　項

ひばりゆりかご保育園で現地視察をさせていただき、ひばり保育園、ひばりゆりかご保育園（6か月～3歳未満の保育）の取組状況の説明を受けました。

保育業務の効率化の取り組みについて

昨年度、国の補助金を活用し、ひばり保育園・ひばりゆりかご保育園にICT化推進を目的とした補助を交付したことにより、連絡帳等のデジタル化が進みペーパーレス化を実現しました。事務作業が軽減され、保育士が子どもと向き合う時間をより一層確保することができました。また、午睡センサーとの連動により昼寝中の呼吸チェックが自動化され、負担軽減にもつながっています。

保護者はアプリで欠席連絡ができ、写真付き連絡帳で園の様子を把握しやすくなりました。不審者情報や災害時の緊急連絡もプッシュ通知で即時に届く体制を整備し、さらにキャッシュレス決済の導入により集金袋の受け渡しが不要となり、クラス便り等をPDF配信することでペーパーレス化も進んでいるとのことです。0歳児からの記録が蓄積され、卒園時の指導要録をデータで作成できるようになるようです。

こども誰でも通園制度について

今年度から開始された制度で、保育園等を利用していない6か月～3歳未満の子どもが利用できます。当町ではひばりゆりかご保育園が登録施設として対応しており、子ども一人につき月10時間まで利用可能で、利用料は1時間あたり300円です。保護者が申請後、発行されたログインIDで「つうえんポータル」に登録することで希望施設を利用できます。



総務産業委員会

防犯灯等LED化工事の進行・準備計画、受注業者が決定される

令和8年7月22日、所管事務調査を行いました。

調　査　事　項

防犯灯等LED化について

工事の進行計画及び工事準備の進捗度合、受注者側の業務分担等について、現時点では、防犯灯等LED化への一括更新に伴う調査を行うためのシステム整備などの事前準備を行っており、7月下旬から現地調査と電力契約の照合や電灯等の機種選定を行います。その後、9月から12月を目途に防犯灯等のLED化工事を行います。

当該事業は、設計等を岩崎電機株式会社、工事等を東上電設株式会社、維持管理等を福島電気株式会社が担当する予定であり、3者が受注者となっています。

委員から、対象となる防犯灯は何基かの問に対し、1646基との回答がありました。また、受注業者間の配分金の調整はできているのかとの問に対し、各々が合意しているとの回答がありました。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した町の支援事業について

町では住宅敷地内に設置する防犯カメラの購入費用を補助します。

今年4月1日から11月30日までに購入したもので、交付回数は一住宅1回、4万円を上限とします。委員から、今回の補助事業で想定される予算額の問に対し、400万円との回答がありました。

